

仙 台 市 長 郡 和 子 殿

新型コロナウイルス肺炎の感染防止等に関する緊急要望（第7次）  
クラスター対策等への支援強化

令和2年10月26日

公明党仙台市議団

団 長	鈴 木 広 康
幹 事 長	鎌 田 城 行
副幹事長	小 野 寺 利 裕
幹 事	小 田 島 久 美 子
	嶋 中 貴 志
	佐 藤 和 子
	佐 々 木 真 由 美
	佐 藤 幸 雄
	竹 中 栄 雄

2020年10月25日、市内で30人の感染者が発生し、一日の感染者数として過去最高となった旨の報告があり報道されました。今回の結果につきましては、感染ルートがほぼ明らかになっているものであり、拡大防止に注力していくことを見守ってまいります。

本市においては、これまでのクラスター防止および拡大防止の対策として、一定の施策を講じていただいているところでありますが、公明党仙台市議団として、以下3点の対策強化を求め、第7次緊急要望と致します。

**【要望項目】**

1. 国分町地区で実施された400名を対象としてのPCR検査については、実施対象数が目安に達していなかったことから、改めて、本市から勧奨した事業所で検査申し込みをされなかった事業所に対して、希望者に実施を呼びかけること。
2. クラスター等が発生した際の「仙台市感染拡大防止協力事業者特別支援金」については、当該事業所のみならず、国分町地区などにおいては同一ビルや近隣ビルへの経済的影響は計り知れず、早急な支援が必要であり、青森県弘前市の飲食店に限った休業要請の対応と比較要望される声が相次いでいる。特別支援金の対象範囲を拡充すること。PCR検査についても、濃厚接触の有無を問わず当該ビル内に従事する人を対象に広範囲に実施すること。
3. 10月28日から受付が開始する「仙台市感染防止対策奨励金」については、先着による給付が完了した後に対しても、申請した事業所が要件を満たしている場合、もれなく給付できるよう、補正予算による対応を求める。

以上